

## 令和3年度 聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事要旨

日 時 令和3年12月3日（金）13：30～15：30  
場 所 聖籠町役場3階 大会議室  
出席委員 鷺見委員（会長）、五十嵐委員、石田委員、内山委員、神田委員、佐藤委員、鈴木委員、月岡委員、藤間委員、本間委員  
事務局 高松副町長、総合政策課：高橋課長、小林課長補佐、今井主任  
関係課 萩原総務課長、佐藤保健福祉課長、小野長寿支援課長、高橋生活環境課長、渡邊産業観光課長、小林ふるさと整備課長、長川東港振興室長、松井子ども教育課長、佐藤社会教育課長

- 次 第
- 1 開 会
  - 2 委嘱状交付
  - 3 町長挨拶
  - 4 会長及び会長代理の選任
  - 5 議 事
    - (1) 第2期総合戦略の概要
    - (2) 第2期総合戦略の効果検証
    - (3) 第2期総合戦略の改訂について
    - (4) 地方創生関係交付金事業の効果検証
  - 6 閉 会

---

### 議事要旨

#### 議事1 第2期総合戦略の概要

- 事務局から資料1「第2期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略について」に沿って説明

#### 議事2 第2期総合戦略の効果検証

- 事務局から資料2-1「第2期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証」に沿って説明

##### <基本目標1：しごとづくり>

委 員 「ふるさと納税の魅力発信」について、目標を大きく上方修正していくということであるが、他の自治体も同じように、寄附金額の増大は課題に挙げているところだと思う。モノを増やしていくのは頭打ちになりそうであるが、具体的にどのような戦略を描いているのか。

**総合政策課長** 地元産品を扱う事業者と配送業者とのマッチアップのほか、安価で手に入れやすい2等米の追加などについて、庁内のワーキンググループで検討している。

**委員** 今、多くの自治体がモノを増やすことに躍起になっているが、他団体において「モノはある程度揃うので、アクティビティを売りにすることが議論されている」という話を耳にした。モノとサービスとを組み合わせると、よりその先が見えてくるのではないかと考える。

**総合政策課長** アクティビティはなかなか難しいところがあるが、成功させたら大きな効果を生み出すと考えているので、また前向きに検討を進めていきたい。

**会長** 企業版ふるさと納税（企業が地方創生事業に寄附をすると、法人税などの税額控除で恩恵を受けられるもの）は、どのような状況にあるのか。

**事務局** 令和2年度から控除が拡充され、全国的にはかなり伸びている中、聖籠町の昨年度実績は1件で、まだ活用できる余地があると考えている。東港立地企業へのPRチラシの配布や、ホームページ掲載といった取組を行っているが、まだ効果は表れておらず、今後力を入れていきたい。

**会長** 企業も社会貢献に一生懸命取り組まれている中で、上手くマッチングできれば良いと思う。引き続き財源を確保することも重要なので、努力いただきたい。

**委員** 「東港を核とした経済振興」における「新規進出又は規模拡大件数」の2020年度実績及び2024年度目標値のうち、新規進出は何件か。

**東港振興室長** 2020年度実績10件のうち、新規進出は2件。2024年度目標値35件については、内訳を設けていない。

## <基本目標2：結婚・出産・子育て>

**会長** 婚活イベントの町民の参加状況について、カップリングに至っていないとのことであるが、具体的なデータはあるか。

**総合政策課長** 参加者は、毎年2～3人、男女各1人程度と、あまり多くない。結婚だけではなく、交際への発展にも至っていない。

**委員** 聖籠町の合計特殊出生率は、目標を下回ってはいるものの、全国平均や新潟県平均に比べると非常に高い。町では、「15～49歳の女性の人数」の推移はどのようになっているか。

**会長** 以前と比べれば当然減るが、その中でも聖籠町はあまり減らない。

**委員** 聞くところによれば、進学等で一度地元を離れると、男性は一定数が戻ってくるが、女性だと戻らないことが多い。地元の魅力がないのか、職場や地域とのつながり、子育て支援などで何か障壁があるのか、よく分からない。

**事務局** 総合戦略の冊子の 31 ページ、図表 28 に今後の見込みが示されており、やはり減少はしている。

聖籠町で女性の数が比較的多いのは、若い女性が結婚後に戻って家を建てるといふことのほか、平成 17 年度からの幼稚園・保育園無料化によって他市町村から子育て世代の流入があったことも要因の一つに挙げられる。

**会 長** 2 年前に新潟県の事業で調査を行ったが、聖籠町では圧倒的に若い女性の数が減っておらず、それが 20 歳代の方の結婚につながって出生率を押し上げているというのはほぼ間違いない。当該アンケートでは、直近 10 年間で聖籠町への引越しに当たって重視したこととして、約 40% が「子育てのしやすさ」と回答しており、一つのファクターとして、早くから幼児教育無償化等の子育て施策に取り組んでいたことが功を奏しているのではないかと推察している。

**委 員** 合計特殊出生率の目標 1.92 を達成するため、相関の高いファクターが見えていれば教えていただきたい。

**事務局** 合計特殊出生率を直接的に上げるのは非常に難しく、少しずつ子どもを産みやすい環境を整えていきたいと考えている。かつて聖籠町の特徴でもあった幼児教育無償化が国の施策となり、一方で他団体よりも遅れを取っている部分もあるため、こども園の見直しを進めている。

**委 員** 聖籠町には、どの年代・地域から来る転入者が多いのか。

**事務局** 新潟市、新発田市の近郊市町村が多い。いずれも、仕事を変えなくても通勤できる距離である。

**会 長** 従前居住地別に、理由づけの要因を統計分析したものもあるので、事務局と相談し、共有するようにしたい。

**委 員** 以前に新潟市の保育園を経験してから、聖籠町のこども園に子どもを預けた。聖籠町では、無料で入園できたのは良かったが、月 1 回平日に参観日があり、発表会も平日に開かれ、その内容についても新潟市と大きく異なっていたように感じる。来年度から私立こども園が参入することであるが、町立が一つ残るので、どうしても双方に差が生じるのではないかと思う。4 園との共有方法に工夫はあるのか。

**子ども教育課長** 来年度から蓮野こども園と亀代こども園が私立、蓮潟こども園が「せいろう幼稚園」で町立のまま残ることとなるが、町の幼児教育に対する考え方と同じ方向性の下で取組を進めていく。私立園については、私立の特徴を生かし、水泳やリトミック教育などを行う予定とのことである。それぞれの取組を定期的に共有し、町全体の幼児教育の充実を図っていきたい。

**委 員** リトミック教育は、新潟市の保育園では既に取り入れていた。そのような良いところが増えていくことを望みたい。

**会 長** 以前の調査で「質の部分が大変重要だ」という旨の指摘があったことで、町では小学校・中学校教育も含めて充実させていく考えを持ち、総合戦略に挙げている。

**委 員** 町民の方々が自分の子どもを預ける上で、幼稚園教育の内容が分かるような掲示をしていただきたい。

また、かなり前の話であるが、幼稚園の先生方に英語教育の実施を依頼したら断られた経験があり、もう少し外の声を聴く姿勢が必要だと感じていた。今回の資料に「幼児教育に英語講師を派遣」とあり、大変ありがたいと思う。

**委 員** 資料2-2「第2期総合戦略実施計画・検証シート」の2-④-2「地域への愛着をもったグローバル人材の育成」に、「アクティブイングリッシュを実施した」「対象者3人」となっているが、この「対象者」について教えていただきたい。

**社会教育課長** 中学生3人となっている。アクティブイングリッシュは、放課後を利用して敬和学園大学の学生と先生にお越しいただき、会話をほぼ全て英語のみで行うという取組である。

**委 員** 聖籠町には、外国人技能実習生が東港の事業所に300名ほど在籍している。ベトナムとタイの方が多くて、顔を見ると同じアジア人でも全く言葉が異なり、カルチャーショックを受けるものである。事業所から時間を取ってもらえれば、そのような方々との交流もあれば良いと思う。

**会 長** 確かに、外国人技能実習生に町の中に入れてきていただければ色々な意味で安心にもつながるし、子どもの教育という観点からも、検討いただければと思う。

**副町長** 技能実習生の方だとどうしても短期での往来となるが、例えば地域において交流するようなものがないか、町の政策として考えていきたいと思う。

### <基本目標3：まちづくり>

**委 員** これまでも破損した道路の情報提供をしているが、ほぼ毎日町内を回る中で、管理不全空き家についてどこの自治体でも問題になっており、何かお手伝いできないか、新年度に向けて考えている。空き家の情報を町に提供するに当たって、法的に何か抵触するようなことがあれば、教えていただきたい。

**生活環境課長** 情報共有の在り方にもよるので、個別に後ほど相談させていただきたい。

**会 長** 管理不全空き家は、治安も景観も悪くするので、是非サポートいただきたい。

**委員** 私どもの地域でも空き家が非常に問題になっており、空き家を見つけたら報告するよう役場から要請があるが、報告してもメリットがない。再利用できる状態であれば、家主が直して貸し出しているのだから、問題になっているのは、再利用できないようなものである。電話番号が分かる範囲内で所有者に連絡しているが、住宅を取り壊すとかえって税金が高くなる（住宅用地に対する課税標準の特例）ので、どんなに壊れていても撤去されない。根本的な助成でもあればだいぶ改善されると思うが、一生懸命PRしても、なかなか改善の道はないと思っている。

**生活環境課長** 税の制度については、生活環境課ではコメントは控えたい。「空き家の情報を提供してもメリットがない」という話もあったが、町としては、管理不全か否かに関わらず、空き家を把握しておきたいと考えている。年に数件、町外の方から「空き家を紹介してほしい」「場所の条件が合えば取り壊しを前提にしても良い」という話もあるので、価値のないようなものであったとしても、報告していただきたい。

### **議事3 第2期総合戦略の改訂について**

- 事務局から資料3「第2期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂(案)」に沿って説明

### **議事4 地方創生関係交付金事業の効果検証**

- 事務局から資料4「令和2年度地方創生関係交付金事業の効果検証」及び資料5「令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証」に沿って説明